

関連法令等

- ・ 日本国憲法
- ・ 障害者差別解消法
- ・ 教育基本法
- ・ 学校教育法
- ・ 改訂幼稚園教育要領
- ・ はばだけ未来へ!
- 京プラン（京都市基本計画）
- 人権文化推進計画
- ・ 京都市未来子どもプラン
- ・ 「京都はぐくみ憲章」
- ・ 《学校における》人権教育を進めるにあたって

平成30年度 幼稚園経営方針全体構想図

京都市立京極幼稚園

学校教育の重点

～京都市の目指す子ども像～  
伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り拓く子ども  
～「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を高める～

- 学校教育において重視する視点
- 学校運営の柱
- 生きる力を育む基本的な考え方

教育目標

「一人一人がその子らしさを発揮しながら  
仲間の中で育ち合う  
心豊かで やさしく たくましく 生きる子」

園児の実態

地域・保護者の願い

目指す教職員像

- 子どもの心の動きをとらえ、困りに気づき、遊びを支え、笑顔を引き出す教職員
- 明るく元気で、自らと周りの人の大切さを認められる教職員
- 「わたしの幼稚園」と語れる教職員

目指す子ども像

- ・ 自分の思いをのびのびと表現して遊ぶ子
- ・ 自分でできることは自分でし、自分から動き出す子
- ・ 自分も仲間も大切にする子

園内研究主題

“遊びを通して育まれる、  
言葉による伝え合いを探る”

目指す幼稚園像

- 明るい、あたたかい幼稚園（人も施設も）
- 楽しい幼稚園（幼児期にふさわしい幼児期ならではの豊かな遊びがある）
- 地域に根ざした幼稚園（学校運営協議会をはじめとした地域の人々の支え、自然、歴史、伝統、文化、産業等を教材化、地域へ発信、地域との連携を目指す）

○日常的な子どもの姿、保育についての会話も研究の一環として意識するとともに、研修や他園の研究発表等へ積極的に参加し、教師の専門性を高める。

○園内環境の安全点検、施設の老朽化に対する計画的な対策、明るくきれいな幼稚園を目指した総合的、創造的な取組を進める。

○地域の保育所、小・中学校との子ども相互、教職員相互の交流を進め、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等を共有すると共に、保幼小の円滑な連携・接続を推進する役割を担う。

経営方針

○個々の子どもの発達課題、「困り」や支援の在り方について家庭とも連携して把握に努め、教職員間で共通理解を図り、組織的に取組を進める。

○カリキュラムマネジメントの視点をもって、幼児期にふさわしい遊び、幼児期にこそ経験させたい「ほんまもん」の活動、伝統・文化的活動、自然体験活動等を計画的に織り込むとともに、夢中で遊び込み、人とかかわり合い、言葉による伝え合いが生まれる保育を目指す。

○学校運営協議会を設立し、幼稚園と地域との相互の信頼関係をさらに深め、教育力を高めるとともに、的確な評価の下で、保育の充実を図り、子どもの豊かな学びと育ちの創造を目指す。

園歌

- おててつないで くぐるよ ごもん  
うさぎとかめが あそんでる  
きれいなおはなも さいている  
みんなのみんなの ようちえん
- おててつないで くぐるよ ごもん  
ことりがチッチと ないている  
ポロロン ピアノも なっている  
みんなのみんなの ようちえん
- おててつないで くぐるよ ごもん  
げんきにあそぼうよ トントントン  
なかよくうたおうよ ランランラン  
きょうごく きょうごく ようちえん

学校評価の活用、教育活動の改善

学校運営協議会の発足と組織づくり

- ・ 保育に生きる評価指標としての週案の活用
- ・ 学校評価の結果分析と改善への活用